

二、源村の成立と発展

(1) 日清戦争前後

【史料10】源村役場日誌

明治二十六年（一八九三）年十二月

（堅冊・表紙）

明治貳拾六年拾貳月起
日誌
第一〇五号 山辺郡源村役場

明治二十六年十二月廿二日晴

村長猪野重之助尋常小学校設置ノ義ニ付郡役所へ出頭

助役並木和三郎、書記猪野力太郎雑務ニ従事ス

同月二十三日晴

助役並木和三郎、書記猪野力太郎雑務ニ従事ス

村長猪野重之助郡役所ヨリ帰ル

同月二十四日晴

郡書記古宮仙蔵役場諸帳簿検閲トシテ来ル

同月二十九日曇

助役並木和三郎兵事上ノ義ニ付郡役所へ出頭

十二月卅日晴

村長猪野重之助学事用ニテ郡役所へ出頭

（千葉県文書館収蔵『旧源村役場文書目録P：4 番号939・2』）

【史料11】源村役場日誌

明治二十七年（一八九四）年一月

（堅冊・表紙）

明治貳拾七年壹月起
日誌

山辺郡源村役場

明治二十七年一月一日

本日休暇（一月七日迄）

同八日

本日源尋常小学校新築成ルヲ以テ仮開校式ヲ举行ス

同九日

助役並木和三郎、訓導子安吉郎氏ヲ豊海村役場迄テ送り行ク

同十日

助役並木和三郎豊海村ヨリ帰ル

同十二日晴

並木助役、京僧書記出勤雑務ニ従事ス

同十三日曇

猪野村長、京僧書記出勤雑務ニ従事ス

同十五日晴

猪野村長第三期田租上納及学事用ヲ帯ヒ収税署及郡役所等へ出頭

同十六日晴

村会議員及第七区長滝沢重立ノ者ヲ招集シテ印旛郡八街村長ノ訴願ニ

対スル開申ノ件ヲ諮問ス

同十八日

猪野村長、並木助役、京僧書記出勤雑務ニ従事ス

同十九日

当役場ニ於テ学校建築委員会ヲ開ク

猪野村長、並木助役、京僧書記出勤雑務ニ従事ス

同二十日

並木助役兵事関係文書検閲ヲ受ル為メ郡役所へ出頭

同二十三日

当役場ニ於テ学校建築委員会ヲ開ク

二月八日

並木助役陸軍臨時召集事務ノ為メ郡役所出頭

同十三日

山辺武射郡書記古宮千蔵、同小沢勝本村状況巡視及ヒ役場諸帳簿検閲ト

シテ出張セラル

三月二十九日

助役並木和三郎田税第五期、地租割第一期納日トシテ東金収税署及郡役

所へ出張

四月十七日晴

石田村長、並木助役、京僧、石田両書記出勤雑務ニ従事ス

本村会開会ノ処議員三分ノ二以上ニ満タザルヲ以テ開会セズ

同十八日晴

石田村長、並木助役出勤雑務ニ従事ス

本日本村会ヲ開ク、同日閉会ス

同廿四日午前曇午后晴

並木助役出勤雑務ニ従事ス、石田書記出勤種痘事務ニ従事ス、本日春季種痘ヲ行フ

同廿九日少雨

並木助役消防組設置ノ儀ニ付東金警察へ出張

同三十日晴

並木助役東金警察署ヨリ帰ル、石田書記種痘事務ニ従事ス、本日第二回

春季種痘ヲ行フ

五月二十日晴

本県東金収税署ヨリ収税属松浦石太郎証券印税検査トシテ出張セラル

同三十一日

本日並木助役徴兵検査ニ付検丁引率東金検査所へ出張ス

六月一日晴

並木助役東金検査所ヨリ帰ル

同廿日午后式時強震

石田村長、本村滝沢ト八街村字小間子トノ境界ノ件ニ付東金町へ出張ス

同廿六日晴

本村会ヲ開ク、学校建築費決算ノ為メ猪野重之助氏ヲ傭ヒ郡衙へ出張ヲ

囑託ス

同廿七日晴

郡衙へ出張ヲ囑託シタル猪野重之助氏午后尅時帰場

同廿日晴

石田村長本村上布田中田日達ヨリ学校敷地寄附ニ付登記ノ為メ八日市

場区裁判所東金出張所へ出張、同日帰ル

七月三日晴

並木助役兵事々務検閲ノ為メ郡役所ニ出張、同日帰ル

同廿三日

石田村長、並木助役、京僧書記出勤雑務ニ従事ス、本日ヨリ本村会ヲ開ク

八月廿五日

本日薬王寺施我鬼ノ為メ右三名（石田村長、並木助役、京僧書記）共夜勤セリ

同廿六日晴

石田村長本村ト八街村トノ境界事件ノ為メ東金町へ出張ス

同廿七日晴

石田村長軍事公債募集ノ件ニ付郡役所へ出張セリ

同廿日晴

本日午后四時三十分着報、第一師団第一充員及ヒ后備軍ヲ召集セラレ、同十時三十分着報、徴発馬匹八頭徴発セラル、並木助役兵事事務ノ為メ徹夜セリ

九月一日晴

本日本村役場ヲ以テ衆議院議員投票所ニ宛テタリ、石田村長、並木助役、石田、京僧両書記出勤、源村投票所事務ニ従事ス

同二日晴

石田村長衆議院議員撰挙ノ投票函ヲ護送シテ山辺武射郡役所へ出張セリ一泊

同三日晴

石田村長山辺郡役所ヨリ帰場セリ

同四日雨

石田村長予備徴員並木源蔵召集セラレタルニヨリ同人ヲ引率シテ山辺武射郡役所へ出張セリ、同日帰場

同十二日晴

石田村長軍事公債応募保証金払込下シテ川崎銀行東金出張所へ出張

同十七日曇

石田村長午后ヨリ八街村ト本村トノ境界事件ノ為メ滝台迄テ出張セリ

同二十二日晴

石田村長本村滝沢ト印旛郡八街小間子トノ境界事件ニ付八街役場へ出張

同二十五日雨

石田村長本村滝沢ト小間子トノ境界事件ニ付瀧台へ出張

同二十八日雨

本日本村会ヲ開ク

十月一日雨

石田村長税金上納トシテ東金町へ出張

同十一日晴

石田村長度量衡検査トシテ本村上布田、極楽寺、下布田、武勝、雨坪へ出張ス

同十三日晴

本日本村会ヲ開ク

同十五日雨

並木助役地方税交付ニ付金受取ノ為メ郡役所へ出張ス

十一月四日雨

本年秋季臨時種痘所ヲ滝沢太田玄弘、源村役場ニ開設ス、石田書記種痘事務ニ従事ス

同三十日曇

石田村長諸税上納トシテ東金支金庫へ出張ス

十二月十二日晴

石田村長本村滝沢ト印旛郡八街村字小間子トノ境界ノ件ニ付東金町公証役場へ出張セリ

同十三日

石田書記軍事公債応募申込書取纏メ日本銀行東金出張所へ出張セリ

同十九日晴

石田村長予備徴員戸田福太郎ヲ引率シテ郡役所へ出張

同二十一日晴

石田村長八街村ト本村トノ境界事件ニテ東金服部公証役場へ出張

同二十二日晴

石田書記徴発馬匹検査立会トシテ東金町へ出張一泊

(千葉県文書館収蔵『旧源村役場文書目録P・4 番号939・3』)

【史料12】源村役場日誌(竖冊)

明治二十八(一八九五)年一月

一月一日晴

本日休業

四日晴

並木助役石田書記出勤雑務ニ従事ス

五日晴

石田村長並木助役石田書記出勤雑務ニ従事ス

十五日晴

石田村長出勤雑務ニ従事ス、並木助役国税納付トシテ東金支金庫へ出張ス

二月十一日晴

本日紀元節ニ付一同休業

十九日

京僧書記徴発馬匹検査立会トシ東金町へ出張

廿二日晴

石田村長村会事務ニ従事ス、並木助役役場事務ニ従事ス、本日本村会ヲ開ク

廿三日晴

石田村長役場事務ニ従事ス、並木助役村会用ニテ郡役頭へ出頭

二月二十八日晴

並木助役国税及地方税上納トシテ東金支金庫へ出張、石田村長出勤雑務ニ従事ス

三月廿日

猪野書記徴発馬匹検査立会トシテ東金町へ出張

四月一日

並木助役財税納付トシテ東金支金庫へ出張

四月二日

本日本村役場及ヒ本村滝沢太田玄弘方ニ於テ春季種痘ヲ行フ

四月十二日

猪野書記出勤雑務ニ従事ス、並木助役地方税納付トシテ東金支金庫へ出

張

四月廿五日晴

石田村長猪野書記出勤雑務ニ従事ス、並木助役地方税納付トシテ川崎銀
行東金出張所へ出張

四月廿六日

本日第二種国民兵名簿進達トシテ山辺武射郡役所へ使丁ヲ発ス（使丁小
川友左門ナリ）

本日第六区第七区第八区第九区ノ区長会ヲ開ク

四月三十日晴

本村各部落縮図要用ニ付脚夫ヲ以テ該図返戻ノ義東金収税署へ発ス

五月一日晴

地方税村税ノ伝令書及ヒ賦課令状ヲ役場使丁ヲ以テ各納人へ発ス

五月六日晴

本村内里道取調トシテ山辺武射郡書記額賀鈴三、同菊地出張セラル

五月七日晴

本日廿八年度第一期戸数割追加ノ為メ本村会ヲ開ク

五月九日晴

本日本村滝沢ト八街村小間子トノ争論費用ノ義ニ付常村会ヲ開ク

五月十四日晴

本日日清戦争ノ終局ヲ告グ、両国平和ノ条約ヲ訂結セシメタル詔勅ヲ拝
承セリ

五月十六日晴

本日源尋常高等小学校ニ於テ日清講和ノ祝賀式挙行ノ為村長石田熊三
郎学務委員猪野重之助臨場

五月廿三日曇

本日証券印税検査トシテ東金収税署ヨリ川井収税属出張セラル

六月一日晴

並木助役国税及ヒ地方税納付トシテ東金支金庫へ出張

六月二日晴

石田村長明日本村徴兵適令者ヲ引率シテ東金徴兵検査部へ出張

六月三日晴

石田村長東金徴兵検査所ヨリ本日帰ル

六月九日

免税車検査トシテ東金収税署ヨリ収税属出張セラル

六月廿五日晴

本日本村会ヲ開ク

七月十日晴

本日本村役場ニ於テ本村会ヲ開ク

七月二十日

本日本村役場ニ於テ本村会ヲ開ク、並木助役教員恩給基金納付トシテ東
金川崎銀行出張所へ行ク

金川崎銀行出張所へ行ク

七月卅一日曇

並木助役国税納付トシテ東金支金庫へ出張

八月十五日晴

本日本村役場ニ於テ本村会ヲ開ク

八月三十日晴

本日国税地方税納付トシテ使丁水原市太郎東金川崎銀行出張所へ遣ス

九月十一日晴

本日本村役場ニ於テ本村会ヲ開ク

九月十三日晴

石田村長並木助役営業届事務ノ為メ徹夜セリ

九月十九日晴

地方税雜種稅納付トシテ使丁水原市太郎川崎銀行東金出張所へ遣ス

九月廿八日曇

助役並木和三郎兵事々務檢用トシテ郡役所へ出張

九月三十日晴

使丁水原市太郎自家用料酒類免許鑑札用送ノ為メ東金収稅署へ遣ス

十月三日晴

並木助役佐倉大隊区司令官召集準備書類檢閲トシテ山辺武射郡役場へ

出張ニ付午后第三時ヨリ同地へ出張ス

十月五日曇

並木助役召集準備書類檢閲結了ニ付本日帰ル

十月十日曇

本日本村役場ニ於テ本村会ヲ開ク

十月十六日曇

並木助役本日簡閱点呼及ヒ召集準備書類檢閲ノ為メ東金西福寺へ出張
セリ

十月二十一日晴

本日台湾へ出征軍ノ為メ軍資金献納ノ義ニ付区長会ヲ開ク

十月廿三日曇

並木助役 聖影奉迎準備ノ為メ山辺武射郡役場へ出張セリ

十月廿八日曇

本日 聖影奉迎準備ノ為メ本村会ヲ開ク

十月三十日晴

猪野学務委員 聖影奉迎準備ノ為メ東金町へ出張

十一月三日雨

本日 聖影奉迎トシテ石田村長猪野学務委員長井口義十郎山辺武射
郡役所へ出張セリ

本日源村長尋常高等小学校ニ於テ本村吏員其他有志者学校職員生徒一

同参集 聖影奉戴式ヲ举行ス

十一月十三日雨

本日本村会ヲ開ク

十一月六日晴

本日ヨリ本村滝沢太田玄弘及本村役場ニ於テ秋季種痘ヲ行フ

十一月三十日

並木助役国税及地方稅納付トシテ東金支金庫へ納付

十二月十三日晴

本日本村役場ニ於テ本村会ヲ開ク

十二月廿日

本日本村役場ニ於テ源尋常高等小学校教員室設置ノ義ニ付各区長会ヲ
開ク

(千葉県文書館収蔵『旧源村役場文書目録P・4 番号 939・4』)

二十八^(マ)年一月一日晴

並木助役 聖影拜賀式挙行ノ為メ源尋常高等小学校へ出張セリ

一月四日晴

本日ヨリ役場事務ヲ取扱フ

一月九日晴

本日本村役場ニ於テ学校教員室設置ノ件。書記撰任ノ件。第七区代議者退職ノ件ニ付本村会ヲ開ク

一月十一日晴

本日本村役場ニ於テ学校教員室設置ノ件ニ付第一区ヨリ第五区迄テノ各区長会ヲ開ク

一月十四日

並木助役田租第三期分納付トシ東金支金庫へ出張セリ

一月廿二日

本日地方税負担税營業者配当議案議決ノ為メ本村会ヲ開ク

二月一日

国税雑種納付ノ為メ使丁水原市太郎ヲ東金支金庫へ遣セリ

二月十一日

本日紀元節ニ付 聖影参拜式挙行ノ為メ石田村長猪野学務委員源尋常高等小学校へ臨席セリ

二月十八日晴

石田村長退職届セリ

二月二十三日

本日廿九年度予算ノ義ニ付本村会ヲ開ク

二月廿七日

並木助役国税納付トシテ東金支金庫へ出張

三月十一日

本日ヨリ村長遠山文治郎出勤セリ

三月廿一日

本日ヨリ源尋常高等小学校生徒定期試業ヲ行フ、村長遠山文治郎立会

三月廿二日

村長遠山文治郎前日同様定期試業ニ立会

三月廿五日

郡長黒田剛殿へ郡書記小沢勝殿随扈巡視相成ル

三月廿六日

源尋常高等小学校定期試験証業授与式執行ニ立会ス

三月廿一日

並木助役国税納付トシテ東金支金庫へ出張セリ

四月十一日

明治廿九年度源村地方税中戸数割第一期毎戸課額議件村会ヲ開ク

四月十四日

本日春季種痘ヲ本村役場及ヒ本村滝沢太田玄弘方ニ於テ執行ス

四月十六日

本日印旛郡八街村助役鈴木文太郎来場、要件ハ本村滝沢区地所ト八街村板橋道路ニ関スル件協議ノ為メ来ル、追テ尚文通ヲ以テ申越ス筈ニテ帰ル

四月十七日曇

本日並木助役字令児童調査簿檢閲其他ノ用件ヲ帶ヒ郡役所へ出張ス

四月十九日雨

本日使丁水原市太郎ヲ以テ兵事關係書類進達ノ為メ山辺武射郡役場へ遣ス

四月廿日晴

本日春季種痘第貳回ヲ執行ス

四月廿五日雨

本日本村上布田区八幡神社境内枯損木伐採願見分トシテ郡書記松原(林)殿来ル

四月廿七日晴

本日本村滝沢ト印旛郡八街村小間子トノ境界道路修繕ノ件協議ノ為メ両村關係者出会ス、立会トシテ村長遠山文治郎出張、来ル五月三日再会ノコトヲ約ス

四月廿八日晴

本日源尋常高等小学校附属舎教員室落成、教員井口義十郎同舎ニ引移ル、本日源尋常高等小学校便所下肥入札ヲ執行セシニ、本村下布田区並木浅吉落札金四円ヲ以テ来ル明治三十年三月迄ノ約ヲナス

四月卅日晴

本日所得調其他ノ書類進達ノ為使丁小川友左衛門ヲ山辺武射郡役所へ遣ス

五月三日曇

本日本村滝沢ト八街小間子境界道路修築ノ義ニ付、去月廿七日ノ約ニ依リ両村長及ヒ關係者立会道巾杭打込之義、来ル八月十五日ヲ以テ両村ヨ

リ区长石田弘之助人足三名召連レ出張ス

五月四日小雨

並木助役本日車税其他ノ義ニ付山辺武射郡役所へ出張セリ

五月十四日

本日教育費不足補充議案其他ノ件々木村会ヲ開ク

五月廿日曇

本日各区内神社々々掌撰定ノ件ニ付区长会ヲ開ク

五月廿四日

本日印税檢査トシテ収税属山崎東次本村役場へ出張セラル

六月一日

並木助役国税地方税納付トシテ東金町へ出張同日帰ル

六月三日

並木助役町村行政上其他事務取扱方ノ義ニ付郡役所へ出張

六月五日

並木助役郡役所ヨリ本日帰ル

六月十二日

並木助役収入役事務上ノ義ニ付郡役所へ出張

六月十三日

並木助役郡役所ヨリ本日帰ル

六月廿二日

此日東金警察署長更迭ノ通知アリ

六月廿六日

伝染病報告書類進達ノ為メ使丁水原市太郎ヲ山辺武射郡役所へ差遣ス

六月廿八日晴

六月十五日夜三陸地方大海嘯羅災救恤義損金ノ義ニ付各区長会ヲ開ク、
及ヒ農業組合ヲ變更シテ村農会ヲ設クル為メ農業組合委員会ヲ開ク

六月廿九日雨

消毒薬買入其他ノ要務ノ為メ使丁水原市太郎ヲ東金町へ差遣ス

七月九日

並木助役地方税營業稅雜種課目課額ノ義ニ付郡役所へ出張、同日帰ル

七月十三日

並木助役徴兵検査ノ義ニ付、東金町佐倉連隊区徴兵署へ出張

七月十四日

並木助役徴兵署ヨリ帰ル

七月十六日晴

兵事用ノ為メ使丁水原市太郎ヲ東金町佐倉連隊区徴兵署へ遣ス

七月廿三日

本日廿九年度第壹期營業者負担稅配當議案其他ノ件ニ付本村会ヲ開ク

七月廿四日

遠山村長度量衡検査トシテ第六第七第八第九ノ各区へ出張セリ

七月廿五日

遠山村長度量衡検査トシテ第一第式第三第四第五ノ各区へ出張セリ

七月廿七日

並木助役源尋常高等小学校生徒第壹回小試業執行ニ付立会セリ

七月廿八日

遠山村長源尋常高等小学校生徒第壹回小試業執行ニ付立会セリ

七月三十一日

營業稅關係書類進達ノ為メ使丁水原市太郎ヲ山辺武射郡役所へ遣ス

八月三日晴

本日積金講ノ義ニ付各区長ヲ招集セリ

八月十三日晴

本日本村滝沢橋橋ト八街村小間子ト境界道路修繕ノ件ニ付八街役場へ
照会書ヲ発ス並木助役簡閱点呼執行ニ付東金町へ出張セリ

八月十七日晴

營業稅取調書進達ノ為メ使丁水原市太郎ヲ山辺武射郡役所へ遣ス

八月廿六日小雨

本日教育上ノ義ニ付協議会ヲ開ク、出席スル者山本熊之助外五名、會議
ノ要点ハ源尋常高等小学校訓導今関寛次氏家事支障ノ為メ本校退任ニ
付、後任者撰定方ノ義ニ付本村會議員ノ協議会ヲ開キ、後任ニハ朝比奈
逞君ヲ雇入スルノ手續ニ満場一致ヲ以テ可決、同君所在地増穂村南横川
マテ学務委員カ村長ノ内ニテ出張スルコト協定散会ス

八月廿七日

本日前会ノ決議ニヨリ村長遠山文治郎増穂村南横川マデ出張ス

八月三十日

本日前件ノ義ニ付再ヒ協議ヲ要スル件之アリ協議会ヲ開ク、出席スル議
員猪野重之助、猪野三之助、清水大治郎、並木与三郎、池野定之助、石
田熊三郎、今井幸太郎、猪野朔太郎八名出席ス

協議会ヲ開キシ要点ハ、去ル廿七日ヲ以テ南横川マテ出張セシ件ニシテ、
今関訓導ノ后任トシテ朝比奈逞君雇入スル前会協定ノ趣意ヲ同君二内
談ニ及候処、聊カ俸給増額ノ為メ身ヲ動かサフ不好、然レトモ尔後月給
拾三円ヲ給スル義ニ候ハ、請求ニ可応旨ニ付、再協議会ヲ開ク必要之ア
リシニ先子現任校長井口義十郎君ノ申出ニヨリ今関君ノ后任ニ石井君

ヲ進メ、石井君ノ后任ヲ選択スル件ニ付協議会ヲ開キシニ満場同意ヲ以テシ、差当リ后任者見当ル迄鶴沢与惣太郎及ビ其他ノ者ニテモ本校経済ノ許ス限ハ便宜ヲ与フルコトニ決シ散会ス、依テ同日朝比奈君へ宛テ前内願取消御承認有之度旨郵書ヲ送ル

八月三十一日

並木助役国税及地方税納付ノ為メ東金町へ出張

九月一日

本日源尋常高等小学校長井口義十郎氏ノ申出ニハ石井君ヲ今関君ノ后任ニ進ルニ付、后任者見当ル迄鶴沢与惣太郎氏ヲ仮雇スル意ニ差支ヲ生セシニ依リ、同僚協議ヲ尽シ候処、今一応同僚ニ於テ今関君ニ向へ留任セラルノ様勧告致シ度旨申出ニヨリ、井口君ノ意ニ村長モ同意ヲ表シ置候処、右五三日間確答猶予申出ニヨリ郡衙へモ右法針ノ変セシ意ヲ教育掛迄報告ス

九月二十八日

並木助役国税地方税納付トシテ東金町へ出張

十月十日雨天

本日源尋常高等小学校訓導今関寛治君本校退職ニ付、本村有志者ニテ送別ノ為メ上布田中屋ニ宴会ヲ開ク、役場吏員区長村会議員其他会スル者四拾四名

十月十一日晴

本日今関訓導ヲ郷里増穂村上谷新田マテ送ル、役場ヨリ村長、学校ヨリ校長、源村総代トシテ清水氏出張ス

十月十五日曇天

本日明治廿九年度地方税中戸数割第貳期毎戸課額議案村会ヲ開ク、出席

者七名

十月十九日晴

並木助役赤痢病予防ノ件ニ付、山辺武射郡役所へ出張

十月廿日晴

並木助役山辺郡役所ヨリ本日帰ル

十月廿二日

消毒用器買入ノ為使丁水原市太郎ヲ東金町へ遣ス

十月廿七日曇

本日本村役場位置変更ノ件及ヒ准教員森下新蔵氏へ増俸ノ件ニ付本村会ヲ開ク、本日赤痢病予防ノ為メ避病舎設備ノ件ニ付区長会ヲ本村役場ニ開ク

十一月七日

本日役場事務視察トシテ黒田郡長書記式名ヲ随ヒ午前九時三十分当役場ニ来ル、午后二時ヲ以テ視察ヲ了リ岳山村へ向ケ出発ス

(千葉県文書館収蔵『旧源村役場文書目録P・4 番号939・5』)

【史料14】源村会議案綴込 壹

明治二十五(一八九二)年四月

(堅冊・表紙)

明治廿五年

源村会議案綴込 壹

起四月廿八日至拾二月廿七日

山辺郡源村会々議細則

- 第壹條 會議ハ午前第九時ニ始リ午后第四時ニ終ル時宜ニ依リ議長之ヲ伸縮スルコトアルベシ
- 第二條 議事ノ始終撃折ヲ以テ之ヲ報ス
- 第三條 議員ノ席次ハ毎会抽籤ヲ以テ之ヲ定ム
- 第四條 會議中ハ氏名ヲ呼バズシテ議長ト呼ビ議員ハ其席次ノ番号ヲ用ユ可シ
- 第五條 議題ノ外議事中ニ起リタル総テノ事件ハ議長之レヲ決シ或ハ會議ノ決ヲ取ル可シ
- 第六條 議案ノ可否第三次会ヲ経テ之ヲ決ス可シ
但し時宜ニ依リ議長之ヲ省略スルコトヲ得
- 第七條 第一次会ハ議長書記ヲシテ議案ヲ朗読セシメ総体ニ就キ其可否ヲ決ス
- 第八條 第二次会ハ議長書記ヲシテ議案ヲ毎條朗読セシメ逐次其可否ヲ決ス
- 第九條 第三次会ハ議長書記ヲシテ第二次会ニ於テ議決セシ議案ヲ朗読セシメ全案ニ就キ其可否ヲ決ス
- 第十條 議案ノ旨趣ニ付弁明ヲ要スル事アラバ第一次会ノ始ニ於テ之ヲ質問ス可シ 但シ審議中ト雖モ凝義アルトキハ其ノ一部ニ付質問スル事ヲ得
- 第十一條 發言セント欲スル者ハ議長ノ許可ヲ受クベシ
- 第十二條 發言ハ議長ニ向ヒ之ヲ為ス可シ
- 第十三條 第三次会ニ於テ一議題ニ就キ發言ニ回ヲ超ユルヲ得ス
- 第十四條 賛成者ナキ動議ハ會議ノ問題トナスコトヲ得ス
- 第十五條 辨論末ダ終ラスト雖モ議長ニ於テ論旨已ニ終キタリト認ムルトキハ其ノ議題ノ可否ヲ決ス可シ
- 第十六條 動議ハ原案ニ先チ可否ヲ決ス可シ
但シ其数多ナルトキハ先ツ第一動議ヨリ順次決ヲ取ル可シ
- 第十七條 出席ノ議員ハ可否ノ数ニ入ラザル事ヲ得ス
- 第十八條 會議ノ議決ハ可否ノ多数ニ依リ之ヲ定ム、可否同数ナルトキ再議決ス可シ、若シ猶同数ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル、其ノ可否ヲ表スルノ法ハ起立又ハ投票ヲ以テス議長便宜ニ之ヲ用ユヘシ
- 第十九條 可否ノ数ハ書記之ヲ検査シ其決定ハ議長之ヲ陳告ス
- 第二十條 議事中ハ議員相私語シ又ハ漫リニ議場ヲ退ク等總テ議事ヲ妨グル挙動ヲ為スベカラズ
- 第二十一條 會議ヲ要スル招集ノ告知アルトキハ議員ハ其日時ヲ不愆必ズ出場スヘシ
- 第二十二條 議員欠席スルトキ其ノ事由ヲ開會時間前議長ニ届出ツ可シ
但シ本條ノ手續ヲナササル議決ニ於テハ過怠金五十錢ヲ出サシム、此ノ場合ニ於テハ會議ニ付ス可シ
- 第二十三條 議案ハ議員召集告知ト共ニ配布スルモノトス、但通知書ニ開會時間を記入スル事
- (朱書)「農第一三二六号」
来ル十四日本村会ヲ開ク
但開會前出頭アルベシ
- 一 会場 源村役場

一 開会 午前第十時

一 議件 廿五年度第二期地方税中戸数割毎戸課額議案

右告知ス

明治廿五年十月十一日 山辺郡源村会議長猪野重之助印

議員 猪野朔太郎殿

源村尋常小学校設置延期議案

本村尋常小学校ノ設置ハ明治廿六年六月迄延期ヲ乞ベキモノトス、源村出納臨時検査度救議案

本年ノ出納臨時検査ハ毎年式回トス、半ケ年度毎ニ執行ス、漁村収入役村長兼掌議案

本村ノ収入役ハ村長ニ於テ兼掌スルモノトス

建議書

我国一朝諸外国ト交通ヲナスニ当リテ氣運漸スル所今ヤ立憲ノ政ヲ布キ人民ノ自治ニ任スルニ際シ百度革新未ダ全ク弊ヲ去リ利ヲ起スヲ得ザルモノ一ニシテ足ラズ、然リト雖モ業ニ己ニ自治ノ民タルニ至リテハ進シテ弊ヲ去リ利ヲ起スノ挙ナカル可ラズ、抑モ風教ハ其國ノ文野ヲ表スルモノニシテ又副式的ニ國民ノ愛國愛郷心ヲ強カラシムルモノナレバ最モ意ヲ茲ニ致サ、ルベカラザルナリ、生等常ニ思フ元始、紀元、天皇ノ三大節日ハ國民ノ絶対的重ンズベキノ日ナルコトヲ、然ルニ所謂革新ノ際挙グ可キノ挙ニシテ挙ズ去ル可キノ弊ニシテ去ラザルノ等固ヨリ己ムヲ得ザルモノアリト雖モ方今時俗淫祠ヲ祭リ弊事ヲ行フニ当リテハ時ト財トヲ惜マス、却テ此三節日ニ当リテハ野ニ耕シ山ニ焚シテ其

ノ何ノ日タルヲ知ラザルモノ多キ居ル、豈ニ輕重ヲ誤ルモノニアラズヤ、之ヲ如何ゾ文化高シト言ハンヤ、斯ク如クシテ國民タルモノ忸怩タラザルヲ得ルカ、伏テ希クハ賢明ナル我源村会、生等此議ヲ容レ今ヨリ以後本村一般ニ此ノ三節日ニ於テハ杵ヲ止メ鋤ヲ投シテ旭旗翩翩ノ下ニ勞骨ヲ慰シ併セテ愛國ノ愛郷心ヲ鞏固ナラシメ吾源村ノ風教ヲシテ県郡ノ間ニ超絶セシメンコトヲ、反者或ハ曰ハン、彼等青年世故民情ニ通ゼズ猥リニ憂國ノ士ノ談片ヲ取り以テ其ノ言動ヲ装フモノ、何ゾ一村議會ノ議件ニ數スルヲ得ン、又何ゾ現今ノ源村ニ実施スルノ必要アランヤト、生等一村ヲ思フ衷情ハ此輩ニ向テ辨スルノ違アラサルナリ、伏テ希クハ賢明ナル村会ノ採決ヲ得ンコトヲ、生等懇款ノ至リニ不堪、誠恐誠惶シテ此ニ建議ス

明治廿五年十月十四日 右建議者

協同土曜會員

源村会議長

戸田鉄五郎 森下新藏、井口義十郎

猪野重之助殿

外廿六人

(朱書)「発第一四六号」

来ル十日日本村会ヲ開ク

但開会前出頭アル可シ

一 会場

源村役場

一 開会

午前第十時

一 議件 本村立尋常小学校新築ニ係ハル件

本村諸給与規則中更正ノ件

右告知ス

明治廿五年十一月六日山辺郡源村会議長 猪野重之助

議員 猪野朔太郎殿

源村立尋常小学校新築議案

一本村之尋常小学校ハ其指定セラレタル範圍内ニ於テ適當ノ場所ヲ定

メ新築スルモノトス

一地所ノ選定及新築ニ関スル諸般ノ順序方法ハ別ニ之ヲ定ム

源村立尋常小学校名称位置議案

一名称 村立源尋常小学校

一位置 上布田字下田 三百八十六番三百八十七番

三百八十八番三百八十九番

学校敷地ノ件ニ付テハ去ル明治廿二年同廿五年十一月十日ノ最終決ノ
開議ヲ開ク迄ニハ数拾回ノ村会并ニ区長会重立會議等ヲ開キ議論百出
其ノ局ヲ結ブヲ得ザリシガ茲ニ始テ各負共ニ二三所敷地位置ヲ提出セラ
レ其ノ要所ニ付テ決定シテ始メテ局ヲ結ブ事ヲ得タリ

右提出敷地箇所

新位置 提出議員

字下田四百拾一番 十番遠山文次郎 貳番山本熊之郎

三番猪野三之助 〆三名

同

字下田三百九十三 提出議員 賛成員

同下田三百九十四ノ一 壹番宮澤東三郎 四番石田熊三郎

旧位置 提出議員

字下田三百八十六番 同三百八十七番 八番並木與三郎

同三百八十八番 同三百八十九番 賛成員

三番並木文四郎五番仲田初太郎

六番清水大次郎七番猪野定之助八番並木與三郎九番猪野朔太郎、三次会

ニテ四番石田熊三郎〆七名 多数ニテ決ス

村立 源尋常小学校新築ニ関スル件

一 本校舎ノ敷地ハ上布田字下田

一 本校舎ノ建坪凡八拾坪トシ其建築費及敷地買収代金ヲ合セ金八百三

十三円八十四錢八厘ト予定シ寄附ヲ募集シ新築スルモノトス

但現品寄附アルトキハ建築委員ニ於テ相当代價ヲ積リ本項金額ニ

算入ス

一 寄附ノ募集ハ村長ニ於テ適宜人員ヲ定メ本校使用区内有志者ニ囑托

スベシ

一 建築委員ハ村会ニ於テ本校使用区内各区ニ於テ公民権ヲ有スルモノ

二十名ヲ選挙ス 渾テ無給トス

但シ二七区ハ三名三三六八拾区ハ各三名ヲ置クモノトス

一 校舍ノ設計及工事ニ関スル諸般ノ順序方法ハ建築委員ノ意見ヲ聞キ

おき之ヲ定ム

一 工事ハ明治廿六年二月ヲ限り竣成スルモノトス

本村立尋常小学校世設置猶予ノ稟請

本村尋常小学校ノ儀上布田字下田ニ指定セラレ候処同所ニ於ケル適當ノ家屋ナキヲ以テ校舎ノ新築ヲ為スニアラザレバ設置スルヲ得ザルニ付今般其新築スベキ場所ヲ同字第一番第一番ノ地所ト定メ寄附ヲ募集シ来ル明治廿六年二月廿八日ヲ以テ工事ヲ落成セシムル事トシ其運行ノ順序方法等ヲモ相決シ居候ニ付キ同日迄從前源尋常小学校極樂寺及滝澤両仮教場ヲ据置キ設置延期ノ義本村会ニ於テ議決致候ニ付キ右御猶予相成度此段及稟請候也

源村諸給与規則中更正^{ツマシ}追加議案

本村諸給与規則第十四条ノ次へ左ノ一条ヲ加へ十五条以下ヲ順次繰リ下グルモノトス

第拾五条 有給吏員ノ賄料ハ一食金四錢トシ夜間勤務ニ従事スル場合ニ於テ之ヲ支給ス

基定限左ノ如シ

一 午後 八時ヲ過クルモノハ 一食

一 同 十二時ヲ過クルモノハ 二食

一 同 徹夜ニ涉ルモノハ 三食

本村小学校敷地選定方ニ付篤卜御協議ヲ遂ゲ度儀有之候間万障御差繰リ明後九日正午当役場へ御出会有之度此之段申進候也

但シ同日ハ可成御欠席無之様致シ度若シ不得止事故ニテ御欠席ノ節ハ代人御差出相成度此之段申添候也

時宜ニ依リ敷地更換モ可致候ニ付時間ニ後レザル様御注意有之度候也
明治廿五年十一月七日 源村役場

上布田猪野七郎右衛門同朔太郎、下布田石田三五郎並木文四郎、武勝清水大次郎並木與三郎、雨坪遠山文次郎池野定之助、植草仲田初太郎布留川四郎次、滝澤石田熊三郎宮澤東三郎、酒造布留川吉重郎今井幸太郎、三ヶ尻京僧市郎鈴木貞藏

發第一五三号

来ル廿四日本村会ヲ開ク

但開会前出頭アル可シ

一 会場 源村役場

一 開会 午前第十時

一 議件 源尋常小学校建築伺ニ関スル諸件

源尋常小学校建築委員撰挙ノ件

右告知ス

明治廿五年十一月十九日山辺郡源村会議長猪野重之助 印

議員猪野朔太郎殿

源尋常小学校建築伺ニ関スル諸件

一 校舍設計

教場日本風木造茅葺長方形 間口拾六間 柱四寸四分角土台厚五寸

奥行四間半 中六寸

柱 下七寸ノキ印石

床上ヨリ天井下マテ高一丈

土台上ヨリ床上迄高老尺七寸

東南北三方日本窓高四尺

廊下庇ニテ杉皮葺長拾四間

巾四尺

教員室及小使室杉皮葺間口四間

奥行一間半

一学校ノ編制

尋常科四年 教科目修身讀書作文習字算術体操図画

補修科三年 教科目修身讀書作文習字算術

一学級ノ編制

多級二学級 甲学級第一学年第二学年

乙学級第三学年第四学年

一一ヶ年経費

金三百三円壹銭

一建築費ノ概算

金九百貳拾四円

内

金五拾円

敷地買上代

金百円

地形費

金七百七拾四円

校舎建築費

学校建築委員

建築委員貳十名ノ議決之

猪野七郎右工門

処本日撰挙ニ先チ建議ノ

山本熊之助

来遂ニ各区ヨリ一名ヲ減

猪野三郎右工門

ズ十一名トシテ撰挙ヲ執

石田三五郎

行ス其ノ人名下記ノ如シ

清水大次郎

遠山文次郎

布留川四郎次

石田熊三郎

宮澤東三郎

布留川吉重郎

京僧市郎

源尋常小学校建築伺ニ関スル諸件

一校舎ノ設計

教場日本風茅葺長方形間口拾四間

奥行四間半

柱四寸四分角土台厚 五寸 柱下七寸キ印石

巾 六寸

床上ヨリ天井下マデ高壹丈

土台上ヨリ床上迄高壹尺七寸

東南北三方日本窓三尺五寸

廊下庇ニテ杉皮葺長拾四間

巾四尺

教員室小使室杉皮葺間口四間

奥行壹間半

一

一学校ノ編制

尋常科四年 教科目修身讀書作文習字算術体操図画

補修科三年 教科目修身読書作文習字算術

一学級ノ編制

多数二学級 甲学級第一学年第二学年

乙学級第三学年第四学年

一男女生徒ノ年別 尋常科 第一学年男廿八人 第二学年男十人

女十二人 女八人

第三学年男十一人 第四学年男十九人

女七人 女六人

補修科 第一学年男十七人 第二学年男十七人

女 式人 女〇

第三学年男八人

女〇

一将来増加スベキ男女生徒学年別

尋常科 第一学年男四人 第二学年男四人

女 式人 女 式人

第三学年男三人 第四学年男三人

女 式人 女一人

補修科 第一学年男六人 第二学年男三人

女 式人 女 式人

第三学年男 式人

女〇

一学齡児童ノ男女別人員

男百三十六人 女百〇三人

一夏季冬季恒風ノ方向 夏季冬季共南風

一一ヶ年ノ経費 金三百三円一銭

一建築費ノ概算 金八百三十四円

内

金五十円 敷地買上代

金百円 地形費

金六百八十四円 校舍建築費

(裏表紙)

「議員

猪野朔太郎扣」

(上布田 猪野家 B・22)

【史料15】源村会議案綴込 式

明治二十六(一八九三)年一月

(豎冊・表紙)

明治廿六年

源村会議案綴込 式

起一月卅日至十二月廿一日

(朱書)発第五号


来ル三十日本村会ヲ開ク

但開会前出頭アルベシ

一 会場 源村役場

一 開会 午前第十時

一 議件 廿六年度約束郵便税継続施行議案
右告知ス

明治二十六年一月廿七日 山辺郡源村会議長 猪野重之助 

議員 猪野朔太郎殿

(以下村会通知抄録)

(朱書) 発第一四号

来ル廿五日本村会ヲ開ク

一 議件 学務委員撰挙ノ件

廿六年度歳入出予算表

同 戸数割等級ニ賦課スル件

明治廿六年二月廿三日 山辺郡源村会議長 猪野重之助 

議員 猪野朔太郎殿

学務委員ニ関スル規定

一 小学校令第七拾九条ニヨリ本村ニ置ク可キ学務委員ハ左ノ人員ヲ以テ之レニ充テ、公民中撰挙権ヲ有スルモノヨリ出ツル者其任期式ケ年トス

一 公民中撰挙権ヲ有スル者ヨリ二名

一 村立小学校教員ヨリ一名

(頭註) 原案ニ決ス

発第三二号

来ル十一日本村会ヲ開ク

一 議件 廿六年度第一期地方税中戸数割毎戸課額議案

明治廿六年四月八日 山辺郡源村会議長 猪野重之助代理

助役 並木和三郎 

議員 猪野朔太郎殿

(朱書) 発第三二号

来ル十二日本村会ヲ開ク

議件 四月八日発第三二号ノ件

明治廿六年四月十一日 源村会議長 猪野重之助 

議員 猪野朔太郎殿


発第三九号

来ル三十日本村会ヲ開ク

一 議件 負担税配当額ノ件

書記選任ノ件

教育費追加予算

明治廿六年四月廿六日 山辺郡源村会議長 猪野重之助 

議員 猪野朔太郎殿

(朱書) 発第五二号

来ル廿九日本村会ヲ開ク

一 議件 廿五年度歳入出決算ノ件

源尋常小学校建築費一時借入ノ件

元下布田村中持山林名面訂正願ノ件

石田熊三郎道路交換願ノ件

明治廿六年六月廿六日 山辺郡源村会議長 猪野重之助 印

議員 猪野朔太郎殿

教育賞与ノ件

首席教員金四円

次席教員金三円 原案ニ決ス

右ハ明治廿五年六月ヨリ同年廿六年一月迄教員欠乏ノ所在任ノ教員ニ

テ尽力教授致シタルヲ以テ之ヲ賞ス

源尋常小学校ノ建築費ハ寄附金収入ニ差間ヲ生スル時ニ限り建築委員

ニ図リ一時借入ヲ為スコトヲ得

原案ニ決ス

右明治廿六年六月廿九日開会

会出席員

一並木文四郎 式清水大次郎 三猪野朔太郎

四布留川吉重郎 五遠山文次郎 六仲田初太郎

七猪野三之助 八池野定之助 九石田熊太郎

発第五九号

来ル廿一日本村会ヲ開ク

一議件 区長及代理者改撰ノ件

明治廿六年七月廿六日 山辺郡源村会議長代理

助役 並木和三郎 印

議員 猪野朔太郎殿

区长

第一区长 猪野七郎右衛門 第二区长 猪野三郎左衛門

第三区长 石田三五郎 第四区长 並木与三郎

第五区长 遠山文次郎 第六区长 猪野 清吉

第七区长 今井 惣作 第八区长 布留川吉重郎

第九区长 京僧 市郎

代理者

第一区 小川歌三郎 第二区 猪野三之助

第三区 石田百太郎 第四区 並木与三郎

第五区 池野定之助 第六区 神崎辰之助

第七区 石田 甚作 第八区 今井幸太郎

第九区 山本万次郎

発第七一号

来ル六日本村会ヲ開ク

一議件 廿六年度地方税戸数割第二期毎戸課額議案

源尋常小学校設置報告ノ件

第七区々々長退職ノ件

明治廿六年十月三日 山辺郡源村会議長 猪野重之助 印

議員 猪野朔太郎殿

第七区々々長退職ノ件 現任区长今井惣作退職之義可決致し、新任今井貞

三郎ヲ撰定ス

源村会議長 猪野重之助殿

村長解職之件

現任村長猪野重之助退職届ヲ出スタル者議會否

決ノ上本人還附スルコトニ決ス

(朱書)第九二号

八街村小間子ト滝沢

是レハ郡衙ノ命令ニ依リ先方ヨリ訴願被致候節

来ル二十日本村会ヲ開ク

境界争論ノ件

ハ当役場ニ於テモ右ニ対スル答弁ヲナス当分見

議件 源村長退職ノ件

合セ置クコトニ決ス

同后任選挙ノ件

村会傍聴申請ノ件

是レハ其ノ都度役場ノ揭示場ヘ日付ヲ公告スル

書記選任ノ件

コトニ決ス

源尋常高等小学校設置ノ件

村税徴収延期ノ件

九月ヲ以テ定二日候処十月迄ニ延期スルコトニ

源尋常小学校旧校舍及教員室処分ノ件

決ス

八街村長ノ訴願ニ対シ答申ノ件

書記退職之件

猪野力太郎書記退職ノ義可決致ス、当日ハ勤務

明治廿六年十二月十七日 山辺郡源村会議長 猪野重之助

ノコトニ決ス

議員 猪野朔太郎殿

申請

源尋常高等小学校設置儀案

源尋常高等小学校設置取調書

一名稱

源尋常高等小学校

一位置

源村上布田 三百八十六番地 三百八十七番地ノ内一

三百八十七番地ノ内二

三百八十八番地 三百八十九番地

一設置区域

源村全部落

一戸口

戸数三百拾七戸 人口千五百七十九人内 男八百〇七人

女七百七十二人

此之段申請候也

明治廿六年十月二日

源村同志惣代

京僧 市郎

井口久五郎

一就学児童及不就学児童数

就学児童 百五拾四人内 男九十八人

女五十六人

不就学児童 四十七人内 男三人

女四十四人

一通学最遠距離 東廿五町 西廿五町 南三十町 北二十町

一入学生徒予定数 百八十六人内 男百三十人

女五十六人

一学級編制 三学級

第一学級尋常科 第一学年生 三十七人

第二学年生 三十三人 合七十人

第二学級尋常科 第三学年生 二十八人

第四学年生 二十四人 合五十二人

第三学級高等科 第一学年生 二十一人

第二学年生 十七人

第三学年生 十五人

第四学年生 十一人 合六十四人

一教科国図書目

尋常科ノ分

学科	著訳編者	図書名	巻冊記号
読書	新保盤保著	日本読本	八冊
習字	香川熊蔵著	尋常小学習字帖	八冊
図画	本多銚吉郎著	小学画手本	自一 至六 六冊

高等科ノ分

学科	著訳編者	図書名	巻冊記号
読書	池永 厚著 西村正三郎著	高等小学読本	八冊
習字	香川熊蔵著	高等小学習字帖	八冊
図画	文部省編纂	小学習画帖	八冊
歴史	教育学級編纂 神谷田道著	小学日本歴史 高等小学歴史	卷上下 二冊 卷一三三 三冊
理科	高嶋勝次郎著	明治理科書	八冊

一校舎略図 但別紙図面之通

一歳費予算

一金五百二十八円式十四銭 収入額

内金式百四十四円式拾銭 授業料

但高等科生徒六十四人 一人一ヶ月金拾五銭ノモノ四拾七人

金拾銭ノモノ拾人(一家二名同時ニ就学セルモノ)

金七銭五厘ノモノ七人(一家三名同時ニ就学セルモノ)

此一ヶ年分金百〇式円九拾銭

尋常科生徒百廿二人一人一ヶ月金拾銭ノモノ百十人

金七銭五厘ノモノ七人(一家二名同時ニ就学セルモノ)

金五銭ノモノ五人(一家三名同時ニ就学セルモノ)

此壹ヶ年分金百四十一円三十銭

金貳百八拾四円四銭 村税

一金五百貳拾八円貳拾四銭 支出額

内金四百五拾六円 俸給

但高等科正教員老人月俸金拾貳円此金百四十四円准教員一人月俸金

六円

此金七十二円尋常科正教員一人平均月俸金十円此金貳百四拾円

金貳百五拾銭 雇給

金五円 賞与

金六円四十銭 旅費

金拾四円 備品費

金拾九円七十銭 消耗品費

金拾貳円八十銭 雑費

金八円 営繕費

金三円八十四銭 恩給費金

(原案決ス)

(朱書)発第九三号

来ル二十一日日本村会ヲ開ク

議件 本月十二日付第九二号ノ件

(朱書)但再開

明治廿六年十二月廿日 山辺郡源村会議長

議員 猪野朔太郎殿

猪野重之助印

発第二三七号

訴願書

印旛郡八街村字小間子ト山辺郡源村滝沢トノ境界ニ付争論ヲ生シ該境界タル村境ニ郡境ニ国境ノ三界ニシテ実ニ輕々ニ附ス可カラザルヲ以テ本月九日本村会ニ於テ決議相成リ候ニ付町村制第五條ニ依リ迅速御裁定相ヒ成下度此之段及訴願候也

明治廿六年十月十日

県参事会

千葉縣知事 兵頭 正懿殿

答申書

本村滝沢ト印旛郡八街村字小間子トノ境界ニ関シ本年十月十日付ヲ以テ八街村長ヨリ訴願ニ対シ公平ノ御裁定相成リ度此之段及答申候也

明治廿六年十二月廿一日 山辺郡源村長 猪野重之助

県参事会

千葉県知事 兵頭 正懿殿

(上布田 猪野家 B・23・1)

【史料16】源村会議案綴込 参 明治二十七年（二八九四）年二月

（豎冊・表紙）

明治二十七年分
源村会議案綴込 参
議員猪野朔太郎控

（朱書）発第一二二号

来ル十三日本村会ヲ開ク

議件 廿七年度約束郵便税継続施行議案

村長后任選挙ノ件


学務委員退職ノ件

第七区代理者退職ノ件

八街村長ノ訴願へ対シ答申ノ件

源村武勝伝染病予防費取消願ノ件

明治廿七年式月十日 山辺郡源村長代理

助役 並木和三郎 


議員猪野朔太郎殿

（朱書）発二二二号

今十九日本村会ヲ開ク

議件 収入役ノ事務ヲ助役ニ兼掌セシムル件

学務委員ニ関スル規程中更正ノ件

明治二十七年二月十九日 源村会議長 並木和三郎 

議員猪野朔太郎殿

学務委員ニ関スル規定中更正議案

明治廿六年二月廿五日決議ニ係ル学務委員ニ関スル規程中

一公民中選挙権ヲ有スルモノヨリ「二名」トアルヲ「一名」ト更正ス

原案ニ決ス

（朱書）発第二四号

来ル廿四日本村会ヲ開ク

一議件 廿七年度約束郵便税継続ニ関スル件


明治廿七年二月廿三日 源村会議長助役 並木和三郎 

議員猪野朔太郎殿

（朱書）発第四一號

来ル十日本村会ヲ開ク

議件 廿七年度歳入出予算表ノ件

明治廿七年三月七日 山辺郡源村会議長 並木和三郎 


議員猪野朔太郎殿

（朱書）発第四八号

来ル十九日本村会ヲ開ク

議件 村長選挙ノ件

廿七年度歳入出予算案中更正ノ件

明治廿七年三月十六日 山辺郡源村会議長 並木和三郎 

議員猪野朔太郎殿

村長選挙点数

七点 石田熊三郎 一点 遠山文次郎

拝啓、時下春寒料峭之候御座候処、各位愈御健勝奉欣賀候、扱小生此度
県会議員候補ト相成リ競争場裡ニ打出候ニ付テハ江湖達識之御叱付ヲ
蒙リ候ナラントハ万々期シ居候得共、同志諸君ノ勧誘モ穴勝峻拒スル訳
ニモ参ラズ、且ツ将来社会ニ対スル希望上深く自ラ期スル所有之候為メ
謏劣ヲモ不顧奮然起テ候補者タルノ決心ヲ致候次第御座候、小生熟々既
往ノ行為ヲ顧ミレバ其汗顔スベキ事一ニシテ足ラザルモ窃ニ謂ラク、人
誰レカ過チナカラン、改ムルニ憚ラザル、是レ小人俗士ノ敢テスルヲ屑
シトセザル所ニシテ而モ正人君子ノ敢テスルヲ屑トスル処ニ有之候、小
生今正人君子ヲ以テ居ラザルモ豈又小人俗士ノ輦ニ做フモノナラン、故
ニ既往ノ事ハ之ヲ春宵ノ夢ト観念シ去リ励精一番社会公衆ノ為メ相尽
シ度心底ニ御座候、故ニ今度幸ヒニ同志諸君ノ御庇蔭ヲ以テ県会議場ニ
立ツヲ得バ先輩諸君ノ驥尾ニ附キ県下公衆ノ利益ヲ謀リ傍ヲ自由専主
義を取り我党ノ為メ聊カ尽瘁ノ誠ヲ効シ誓テ書生ノ汚点ヲ拭ヒ去ラン
トスルノ決心ニ御座候、何卒哀情御諒察被成下度、此之段得貴意候、恐々
謹言

明治廿七年三月十五日

小倉豊洲

猪野重之助様

石田熊三郎様

清水大二郎様

池野定之助様

外有志諸君

呈ス、遠山君、今井長吉井口久五郎一書ヲ本日閣下ノ門ヲ叩キタルハ他
ナシ、已ニ廿二年本郡撰出県会議員ノ撰挙ニハ彼我共同一致以テ撰挙場
裡ニ勝ちヲ制シタルハ小生等ノ言俟タズシテ尊公モ嘸記憶アラン、彼レ
任充チ茲ニ後任モ定マリタリ然レバ我々撰挙者ノ希望充タスニ至ラダ
ルモ任期差支ナク勤メ去リタレハ其ノ一慰勞ヲ祝スル又我々ノ義務タ
ランカ、故ニ今尊公等ト小生等ノ行為幾分異ナルト雖モ曩ニ共同一致ノ
際挙ケタル議員慰勞ナレハ一応ノ御協議致度ト存推参致候処不在ニテ
其ノ意ヲ果サズ、依テ寸意ヲ記置候間前頭御熟考ノ上一両日中諾否御回
答ヲ得ンコトヲ希望候也

四月六日

今井 長吉

井口久五郎

遠山文次郎君

(朱書発第五九号)

来ル拾七日本村会ヲ開ク

議件 廿七年度地方税戸数割第一期毎戸課額議案

八街村長ノ訴願ニ対スル答申ノ件

収入役ノ事務村長ニ兼掌セシムル件

明治廿七年四月十二日

山辺郡源村長

石田熊三郎

議員 猪野朔太郎殿

(朱書発第七六号)

来ル廿九日本村会ヲ開ク

議件 八街村小間子ト源村滝沢ノ境界ニ関スル件

村税徴収期限更正ノ件


明治廿七年五月廿六日 山辺郡源村会議長 石田熊三郎 

議員 猪野朔太郎殿

(朱書) 発第八九号

来ル二十六日本村会ヲ開ク

一議件 学校建築費ニ関スル件

明治廿七年六月二十三日 山辺郡源村会議長 石田熊三郎 

議員 猪野朔太郎殿

(朱書) 発第九二二号

来ル廿八日本村会ヲ開ク

一議件 廿六年度歳入出決算報告ノ件

明治廿七年六月廿五日 山辺郡源村会議長 石田熊三郎 


議員 猪野朔太郎殿

(朱書) 発第一〇二号

来ル廿二日本村会ヲ開ク

一議件 廿七年度第一期営業者負担税配当議案

明治廿七年七月廿日

山辺郡源村会議長代理助役 並木和三郎 

議員 猪野朔太郎殿

(朱書) 発一〇八号

明五日本村会ヲ開ク

議件 負担税課額更正ノ件

明治廿七年八月四日


源村会議長代理助役 並木和三郎 

議員 猪野朔太郎殿

(朱書) 発一二二五号

来ル廿八日本村会ヲ開ク

議件 八街村小間子ト源村滝沢トノ境界ニ関スル件

明治廿七年九月廿六日 山辺郡源村会議長 石田熊三郎 

議員 猪野朔太郎殿

(朱書) 発第一二二九号

来ル拾式日本村会ヲ開ク

議件 廿七年度山辺郡源村地方税中戸数割第二期

毎戸課額議案

明治廿七年拾月九日

山辺郡源村会議長代理助役 並木和三郎 

議員 猪野朔太郎殿

(朱書) 発第一二二六号

来ル廿四日本村会ヲ開ク

一議件 本村極楽寺山本熊之助ヨリ源尋常高等小学校へ基本金寄附

ノ件

印旛郡八街村ト本村トノ境界争論和解ノ件

明治廿七年十二月廿二日

山辺郡源村長代リ助役 並木和三郎

議員 猪野朔太郎殿

源尋常小学校建築費寄附金簿

金百九拾二円参拾二錢五厘

金二百五十一円十五錢

金百十八円六十錢

金九拾円八十三錢

金七十七円五十三錢

金六十三円十五錢

同百廿八円八十五錢

同四十八円四十五錢

同六十三円十五錢

上布田区

極楽寺区

下布田区

武勝区

雨坪区

植草区

滝沢区

酒蔵区

三ヶ尻区

(上布田 猪野家 B・23・2)

【史料17】源村第壹区上布田規約

明治二十四(一八九二)年二月

山辺郡源村第壹区上布田規約

第壹章 組合組織

第壹条 本区ヲ分画シテ四部トナシ各部ニ壹名ノ組長ヲ置ク、組長ハ組

合ヲ管理スル事

第貳条 寄留人ト雖モ一竈ヲ占ムルモノハ其寄留地ノ組合ニ組入ル、

モノトス

第三条 組合内ハ一家族ノ如ク梱切ニ親睦スルヲ以テ旨トス

第四条 組合内ハ吉凶相問ヒ艱難相助ケ遊惰放蕩家内不睦又ハ諸税其

他公共ニ要スル費用ヲ怠納スル者及無益ノ奢侈ヲナシ自然組合中

ノ風儀ヲ紊スモノアラハ互ニ教誡ヲ加フヘシ

第三章 区内取締

第五条 区内整理ノ為メ区會議員拾名ヲ置キ区内一切ノ事務ヲ議決ス

ル事

但区会々議細則ハ開議ノ上之レヲ定ム

第六条 区会ハ毎月一日、十五日ノ両度ヲ通常会トス

第七条 区會議員ハ区内公民中ヨリ撰挙スルモノトス

第八条 区會議員ノ任期ハ滿二ケ年トス、議員ハ任期中正当ノ理由ナク

シテ辞スル事ヲ得ス

第九条 区会ハ区長ヲ以テ會長トナス、會議一切ヲ整理スル事

但シ区長事故アルトキハ代理者之レニ代ル

第十条 区内人民ヨリ緊急ノ問題トシテ区会ニ申告アルトキハ臨時区

会ヲ開キテ協議スル事

第三章 節儉

第十一条 冠婚葬祭ハ組合限リ執行シ無用ノ冗費ヲ一切相省クヘキ事

但葬儀ハ執行中固ク禁酒ス、倘シ組合内ニテ人員不足ナルト

キハ隣組又ハ区内ヨリ依頼スル事

第四章 労働

第十二条 道路修繕ノ節執行時間ハ日ノ長短ニ依リ一定シカタキニ付

其時々区長ヨリ通知ノ時限ヲ愆ラサル事

第十三条 道路修繕ノ節ハ成ヘク戸主出勤スル者トス、若シ止ヲ得サル事故アルトキハ相当ノ代人ヲ出スヘシ

但本条ノ手續キヲ為サ、ルモノハ第廿条ニ依リ処分ス

第十四条 道路修繕ニ対シ区長ノ通知時間ヲ愆マルモノハ第廿一条ニ依リ処分ス

第十五条 道路修繕ニ関シテ紛儀ヲ生スルトキハ臨時区会ヲ開テ紛儀ノ円滑ヲ議ル事

第五章 衛生及教育

第十六条 衛生ハ人体上最モ闕クヘカラサルモノハレハ深ク注意スヘキ事

第十七条 教育ハ国本ノ盛衰ニ関スルモノナルヲ以テ組合中学齡児童ニシテ就学セサルモノアルトキハ其父兄ヲ諭シ又ハ其方法ヲ謀リ務メテ就学セシムヘシ

第六章 禁制

第十八条 他人ノ田圃ヘ故ナク侵入シ不審ノ挙動アルモノハ第廿二条ニ依リ処分ス

第十九条 区内山林中篠切^(註)著堀等堅ク禁止ス

但自用ノ為メ篠切著堀ハ此限ニ非ス

第七章 罰則及賞与

第二拾条 第十三条第二項ニ違背スル者ハ科料金式拾錢ヲ出サシム

第廿一条 十四条ニ違背スルモノハ科料金五錢ヲ出サシム

第廿二条 第十八条第十九条ヲ犯スモノハ科料金壹円ヲ出サシム

但限品ハ没収ス

第廿三条 前条ノ犯人ヲ認メ此ノ規約ヲ履行セサルモノハ科料金式拾錢ヲ出サシム

第廿四条 第十八条第十九条ノ犯人ヲ認メ引致スル者ハ科料金ノ半額ヲ賞与ス

第廿五条 前条ノ科料金ハ之レヲ道路修繕費ニ編入スルモノトス

第八章 休暇

第廿六条 大祭祝日ハ勿論通常休暇毎月一日、十五日ノ両度トス

第廿七条 種蒔カベ切ハ各一日、田植仕舞ハ三日トス

前条々規約締結ノ上者固ク相守、他日違反ナキヲ証明シ記名捺印スル者也

明治廿四年二月廿八日

三百八拾四番地 井口久左衛門 印

(外三十七名 略)

前書之通本区規約締結仕候間、御認可被成下度、此段奉願候也

右区长 井口久五郎 印

代理者 猪野朔太郎 印

一部组长 小川歌三郎 印

二部组长 猪野力太郎 印

三部组长 猪野多喜次 印

四部组长 井口久次郎 印

源村长 猪野七郎右衛門殿

(上布田 猪野家 C.77)

【史料18】諸布告并二通知

明治二十七年（一八九四）年七月

三月廿六日源村会議員撰挙執行廿六日、時間八前記之通

（堅冊・表紙）

明治廿七年度ヨリ

県郡署ヨリ諸布告

并二村区於テ通知其他

村区ニ関係議決件々簿記

猪野ノ控

明治廿七年七月ヨリ日清両国戦争ニ付軍資金寄附ニ付八月四日源村区長会上布田井口辰五郎方ニテ開キ極楽寺猪野重之助、山本熊之助発起者トナリ寄附帳簿ヲ製シ壹区ニ壹冊ツ、九区ニ相渡ス

一金廿五円 猪野七良右衛門 一金壹円 小川歌三郎

一金壹円 井口久次郎 一金壹円 猪野力太郎

（以下十九名略）

計金参拾貳円九十銭ノ式十三名

来ル廿六日執行スヘキ本村会議員撰挙会場ハ本村役場ト相定キ

撰挙時限左ノ如シ

二級撰挙（自午前第七時至午前第十一時

一級撰挙（自午后第二時至午后第四時）

別紙之通御達相成候ニ付此段御通知ニ及候也

明治廿八年三月廿三日 区长 小川歌三郎

（以下氏名略）ノ拾八名

二級当撰者

壹級

山本熊之助

猪野重之助

今井 惣作

池野定之助

井口久五郎

今井幸太郎

明治廿八年五月十六日通知之控

日清戦争終局ニ際シ条約批准公布相成候ニ付、本日郡長ヨリ申越之次第有之候間、此際ニ於テ各戸国旗ヲ掲テ且ツ住民一致一堂興テ祝宴開キ又ハ学校ニ在テハ臨時生徒之運動会ヲ相催シ候等便宜ニ方法以テ十分ニ奉祝ノ誠意ヲ相表シ候条臨機御配意相成度、此段不取敢及御通牒候也、右御達ニ付及御通知候也

明治廿八年五月十五日

区长 小川歌三郎

井口幸造、石橋石太郎、小川弥三郎、猪野多喜次

（以下三十六名氏名略）

徴兵慰会ニ付煙火打揚願

山辺郡源村雨坪

一煙火打揚四拾本

願人 遠山文次郎

右□々八月五日ニ打揚度ニ付此段願上候也

源村区々ヨリ寄附金左ニ

壹区金五円貳区六円三区三円四区三円五区三円六区三円七区三円

八区貳円九区貳円

特別出金者名

金貳円五十錢猪野重之助、金貳円山本熊之助、金貳円五十錢葉王寺
金貳円五十錢

（小川歌三郎、井口久五郎、石田三五郎
清水大次郎、遠山文次郎、並木和三郎

山辺郡源村極楽寺

煙火製造人 金子金次郎

同郡源村上布田貳百九十七番地

四隣軒惣代人

八月二日遠山文次郎参り候ニ付調印致シ置候

平屋 猪野多喜次

同日源村上布田三百

地

小川歌三郎印

東金警察署長

警部松山文治殿

来ル五日征清兵員凱旋慰勞ノ為メ祝宴会举行ニ付当日ハ本村一般各自
国旗ヲ掲ケ祝意ヲ表シ度趣キ本村兵員優待会ヨリ申出ラレ候ニ付、右ニ
御承知区内一般へ通知方御取計被相成度、此段御通牒ニ候也

源村役場

右布達ニ付御通知ニ申上候也

明治廿八年八月四日

区長 小川歌三郎

井口幸造、石橋石太郎、小川弥三郎、猪野多喜次

(以下三十一名略)

明治参拾壹年三月廿六日 源村會議員半数改撰ニ付
来ル廿六日執行スヘキ本村會議員選挙会場ハ本村役場ト相定ム、猶撰挙

開会時限并ニ選挙スベキ議員ノ数左ノ如

二級選挙時間 自午前第七時至午前第十一時

一級選挙時間 自午后第二時至午后第四時

二級ニ於テ選挙スヘキ議員数 三人

一級ニ於テ選挙スヘキ議員数 三人

右之通り本村役場ヨリ通達相成リ候ニ付為心得

明治三十一年三月十九日 源村上布田区長

井口久左衛門 井口幸造 石橋石太郎 猪野多喜次

(以下二十名略)

貳十四人

明治三十一年三月二十六日撰挙源区楽部自由区楽部和解ニ付互二三名

ツ、撰挙スルコトニ付、源区楽部ハ二級ハ棄権、自由区楽部ハ老級棄権
ノ定約ニ付相方三名ツ、当撰ノコト

二級当撰者ハ

老級当撰者ハ

再 並木与三郎

再 石田熊太郎

新 林 甚助

再 清水大治郎

新 今井貞太郎

新 並木文四郎

但シ式級ノ有権者七拾貳名

但シ老級有権者十六名

自由区楽部ノモノ

源区楽部ノ者ナリ

明治卅一年三月廿六日源村會議員半数改選ニ付源俱樂部ニ於テノ費用

左ニ

合計金八拾二円六拾参錢

右ニ付左ノ人名ヲ以テ寄附ヲ募集ス、弁償スル者也

一金廿五円拾參錢 猪ノ重之助
 一同四円 同 三郎右衛門
 一同二円 同 三之助
 一同一円 山本芳太郎
 一同式十円 石田熊三郎
 一同十五円 清水大治郎
 一同二円 猪野朔太郎
 一同一円 小川歌三郎
 一同一円 石田三五郎
 一同五円 並木文四郎
 一同一円 同 和三郎
 一同一円五十錢 池ノ定之助
 一同一円五十錢 布留川四郎次
 一同一円五十錢 猪ノ忠太郎
 一同一円 今井幸太郎
 〆金八十式円六十三錢

明治參拾貳年区内集會件々ニ記ス
 同年二月廿五日(旧正月十六日当ル)区内人民一同區長猪野力太郎宅ニ
 集合農事ニ付種卸種上ケ早苗日取等ヲ議決シ、午后ヨリ旧例依リ休暇
 同年三月三十一日集會件々、旧二月二十日ニ当ル
 一 神武天皇ノ御祠堂ヲ日向国新設寄附金
 一 郵便切手手直上ケ變更ノ件
 一 四月三日源村懇親會加入ノ件

一 鎮守八幡神社幟掉ヲ堂山台藥王寺所有地有地ノ畑ヤナ添江設置ノコ
 ト二区内一同協議決スル
 卅貳年五月二日区内道普請

収第二七二号

伝染病予防及ヒ發生其他ニ関スル設備方法等ニ就キ協議事項有之趣キ
 本郡長ヨリ達之次第有之候条、来ル十一日午前第九時山武郡役所へ御出
 頭ニ相成度、此段及通達候也

明治卅貳年五月八日

源村長 並木和三郎 印

源村予防委員

猪野朔太郎
 土持 鋼興 殿
 今井貞三郎
 太田 玄弘

収第二七二号

伝染病予防上ニ関シ本月十八日午后第一時衛生組長ノ會同ヲ促シ候ニ
 付、諸事御協議申度候間、同日午后第一時本村役場江御參集相成度、此
 段及通知候也

明治三十貳年五月十六日

源村長 並木和三郎

源村予防委員

猪野朔太郎 殿
 土持鋼興 殿
 今井貞三郎 殿
 太田玄弘 殿

(朱書)

五月廿一日正午十二時

追テ当日ハ万障御差操リ御出頭相成度候」

拜啓、陳者伝染病舎建築之費募集之義ニ付御協議申度候間、□二十二日
午后第壹時本村役場へ御出頭相成度候也

廿貳年五月廿二日

源村長 並木和三郎

猪野朔太郎

土持鋼興

今井貞三郎 殿

太田玄弘 殿

伝染病舎建築募集予算額

廿貳年五月廿日決議

一金參拾五円	上布田	一金六拾円	極楽寺
一金參拾円	下布田	一金參拾円	武勝
一金貳拾八円	雨坪	一金參拾円	植草
一金六拾円	滝沢	一金貳拾円	酒蔵
一金拾円	三ヶ尻		
計金參百〇參円也			

發起人
 村長 並木和三郎
 委員 式名 朔太郎、貞三郎
 醫師 式名 土持、太田

右募集ニ付六月八日区会ヲ開ク

回章 源村役場

来ル七日伝染病避病舎建設ノ義ニ付御協議申度候条、同日午后第壹時御出頭相成度、此段申進候也

廿貳年八月五日

源村長 並木和三郎 印

建築委員 猪野朔太郎 山本熊之助 土持鋼興

並木文治郎 今井貞三郎 太田玄弘 殿

拜啓、伝染病避病舎建設ノ義ニ付テハ種々御尽力ノ処御高庇ニヨリ右寄附金モ略ホ予定額ニ達シ候間、是ヨリ建築ニ着手仕度存候、就而ハ諸君ニテ建築落成迄ヲ建築委員トシテ御尽力被成下度、此段得貴意候、

廿貳年八月五日

源村長 並木和三郎

猪野朔太郎 土持鋼興 今井貞三郎 太田玄弘 殿

表 回章 裏 猪野重之助
山本熊之助

拜啓、陳者県會議員選挙ノ義ニ付御協議申上度候間、来ル十八日午后第一時源村役場江御参集被成下度、此段得貴意候、敬具
廿貳年九月十三日 山本熊之助

委員 猪野重之助 並木和三郎
 小川歌三郎 猪野朔太郎
 (他十七名略)

十八日委員衆役場集会ノ件

今回県會議員改撰ニ付本部方猪野重之助江前以テ申越スニ君ハ此度義員ニ出張可致卜ノ通知ニ候処、自分ニ而モ考ル事情有之ニ付挨拶不致

置候処、再応申越候ニ付右事情ヲ述へ（漸ク源村内モ和解ニ相成日尚浅候、然ル処又々不穩ノ事至リ候而ハ村内諸君江対ス不濟ニ付自退ヲ申述候トノ事）

○猪野熊之助江モ進歩党方減租問題之書面江連印為致呉候ト再々申被送候処（云々ハ前記之通不穩之恐レ有之ニ付申答イ候ト申事

依而ハ委員ノ異見へ□□候ハ、源村丈ハ県會議員へ猪野重之助郡會議員ハ山本熊之助ト相定メ当撰スルコトニ決シタル由

山本熊之助ノ申立ニ付拙者ヲ郡會議員当撰被下以上ハ自分シテ公平村江参リ談示可致トノコトニ付、右ニテ閉会ニ相成候

自由党ニ而 台方 前嶋熊太郎

○埴谷 鈴木 正英 九月廿四日投筆

進歩党ニ而 □□ 子安 正雄

○押堀 志賀 五郷

右○印ノ二名当選也

郡會議員ハ公平村源村組合ニ付交渉纏リ四ヶ年季ノ処（前式ヶ年源村、後式ヶ年公平村）相成当源村ニ而者山本熊之助ヲ推撰シ

明治参拾年八月十五日、清国北京城列国軍ニテ占領シ、依テ列国ニテ祝賀トシテ府県知事ヨリ達シ相成リ同月廿七日全国人民一統休日祝ス

上布田区協議之上区内之諸費地価ワリ戸別ワリニテ出金ノ事ニ区会ニテ決議相成ル

清国暴動ニ付列国軍出發北京陥落致ス、救恤寄附金募集、明治三十三年八月廿一日、猪野熊藏持参

廿四年二月四日通知 区长 猪野力太郎
本村會議員選挙名簿本日ヨリ向七日間本村役場ニ於テ縦覧ニ供シ候間、此段及御通知候也

明治廿四年二月三日

水原浅太郎、猪野朔太郎（外五名）殿

上布田区长印

（上布田 猪野家 A・12）